玉高附中通信　WAKAGOMARU　NO.２３

９月 19 日、１年生は九州大学訪問を行いました。現役の九大生である先輩（玉名高校附属中、玉名高校出身）から体験談をうかがうことができました。また、九大水素ステーション見学、キャンパス内の散策など、盛りだくさんでした。昼食は、九大の学食で学生さんや大学の先生方に混じってとることができました。将来の学生生活をほんの少しですが、体験しました。

ハプニングもありました。熊本から来たバスを見た九大の渡邊公一郎先生（九州大学副理事、理学博士）が、「私も玉名高校出身だよ」と声をかけていただき、帰る前にはご講話をいただきました。

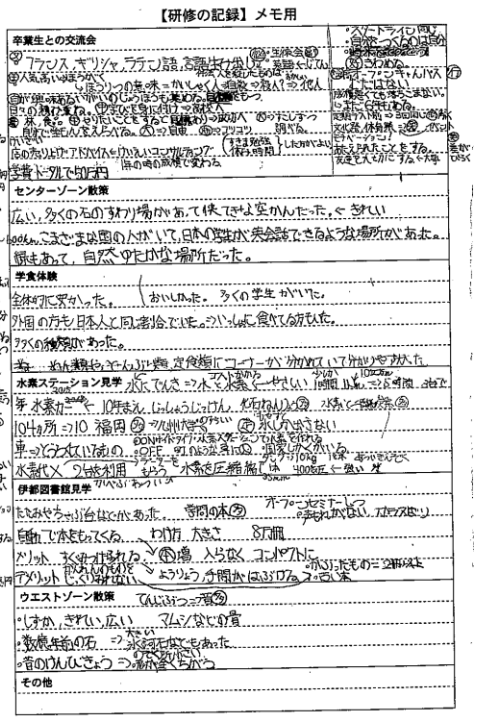
生徒の皆さんの感想と研修の記録（メモ）をご紹介します。メモは１年平田さん。

私が、九州大学伊都キャンパス研修で一番心に残ったことは、水素ステーションです。水素ステーションの見学では、水素のすごさが分かりました。水から電気分解で水素と酸素に分け、水素を取り出すのですが、電気は太陽光発電や風力発電でつくると、環境に配慮がすごく、走った後に出るのは水（水蒸気）と周りに全く迷惑がかからなくてすごいと思いました。

しかし、車１台分の水素をつくるには５時間もかかり、車は 700 万円以上という値段で、とても高額というデメリットがあります。私は、これからの研究と技術で皆が使っていける水素カーを生み出していってほしいです。二酸化炭素排出量０にしていってほしいです。（1 年　坪根さん）

ぼくは今回の九大訪問で一番楽しみにしていたのは、はっきり言って「ビッグさんど」での学食体験でした。でも、卒業生の講話を聞いたり、水素ステーションや伊都図書館の見学をして、知らないことをたくさん知ったり、人生の先輩である九大生から「今後、どうしていくとよいか」などを聞いていくうちに、「九大ってすごいな」「九大ってこんなこともしているのか」などと興味がわいてきました。

今回は、文学部、法学部、農学部、経済学部の４人の先輩方から話を聞きました。それぞれ、今の自分、中学、高校時代の自分に加えて、ぼく達へのアドバイスをくれました。全員が言っていたことが、「目標をまず見つける」「今の成績なんていくらでもひっくり返せる」でした。ぼくは、成績がよいと自信を持って言える順位ではなく、これまでにいくつもテストを受けてきて、最近成績がのびなやんでいるところでした。でも、今回の話を聞き、まだ全力で何事も取り組んでいいればいいのだと分かりました。この九大で研究をされている方も、もとはぼくみたいな人だったのかなと思うと親近感がわき、「九大って意外と身近にあるのかも」と思えてきました。（1 年　河野くん）



今回利用のバスは車体全面にくまモンと熊本の名所が描かれていて、それがきっかけで、渡邊公一郎先生から声をかけていただきました。くまモンに感謝します。　　2018.10.5　　副校長　山部

「玉高附中通信ＷＡＫＡＧＯＭＡＲＵ」は、玉名高校・玉名高校附属中学校ホームページに掲載しています。

ＵＲＬ：http://sh.higo.ed.jp/tamana/